

2025年3月期 決算概要



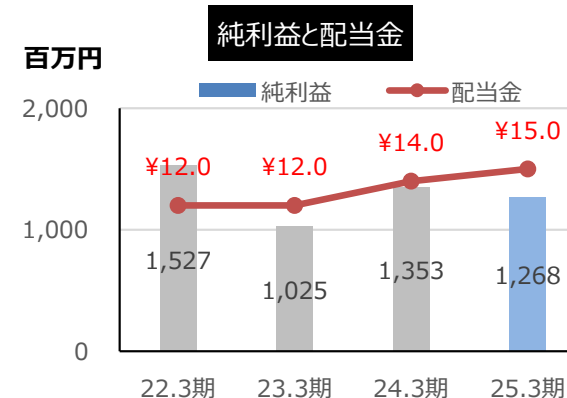
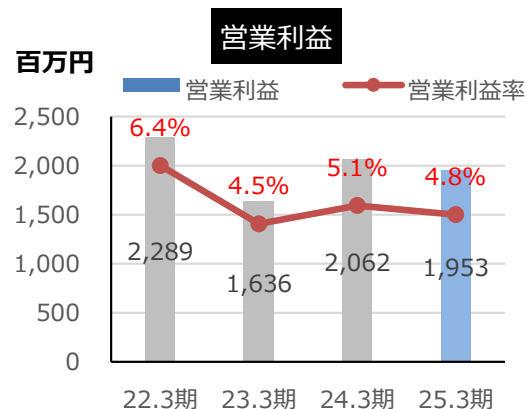
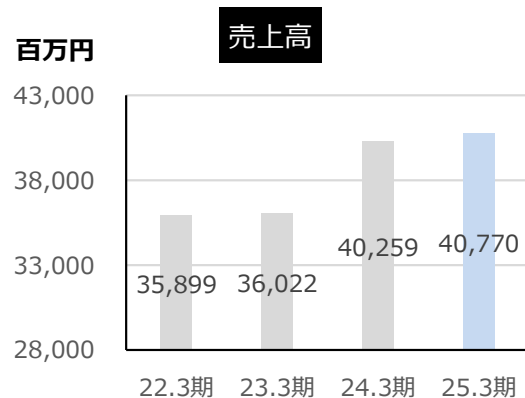
2025年5月14日

株式会社ビーアールホールディングス

業績サマリー

売上高は過去最高、営業利益、経常利益、当期純利益は2年ぶりの減益

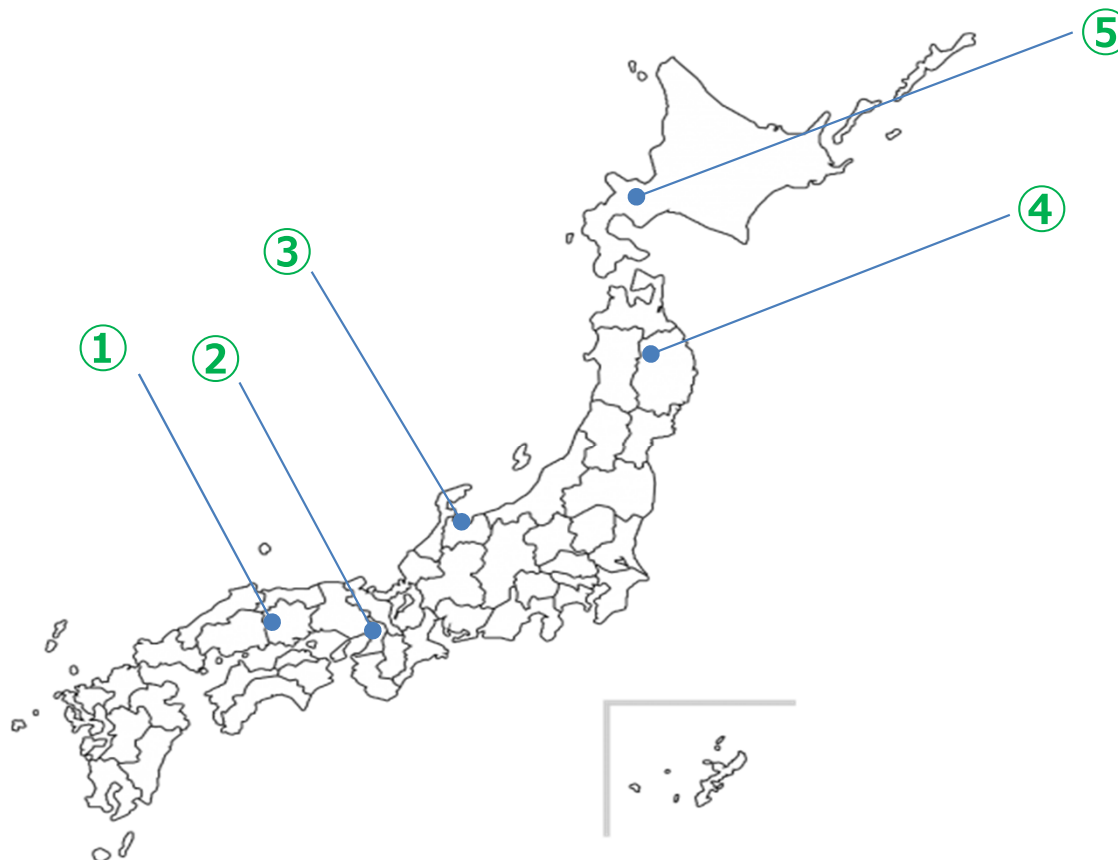
単位：百万円	23.3期		24.3期		25.3期			
	実績	前年比 %	実績	前年比 %	実績	前年比 %	公表比 %	総括コメント
売上高	36,022	0.3	40,259	11.8	40,770	1.3	△2.9	大型工事が順調に進捗したが、設計変更による増額契約の獲得が次期に持ち越しとなり前期比増収となったが、公表比より減
営業利益	1,636	△28.5	2,062	26.0	1,953	△5.3	△18.6	見込んでいた設計変更による増額が獲得できず減益
経常利益	1,624	△29.3	2,036	25.3	1,880	△7.6	△20.0	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,025	△32.8	1,353	31.9	1,268	△6.3	△18.1	
1株当たり当期純利益	22.63円		29.81円		28.29円			
1株当たりの配当金	12円 (中間6円 期末6円)		14円 (特配1円含む) (中間6円 期末7円 特配1円)		15円 (中間7.5円 期末7.5円)			1円の増配



➤ 大型工事の受注

建設事業において、以下の大型工事を受注しました。

①中国自動車道（特定更新等）宮脇橋他 3 橋床版取替工事（西日本高速道路）	34億80百万円
②新名神高速道路 梶原橋他 1 橋（P C 上部工）工事（西日本高速道路）	22億27百万円
③東海北陸自動車道（4車線化）田尻橋他3橋（PC上部工）工事（中日本高速道路）	21億70百万円
④八戸自動車道 保戸沢橋床版取替工事（東日本高速道路）	21億51百万円
⑤北海道新幹線、ルベシベ川橋りょう(PCけた）（鉄道建設・運輸施設整備支援機構）	20億35百万円



➤ 第1次中期経営計画2024-2027の策定

2024年度を初年度とする中期経営計画を策定いたしました。

1. 中期経営計画の位置づけと狙い

今般策定した計画は、当社グループが目指す長期ビジョン(Br.VISION 2030)「インフラ整備を通じて社会に貢献し、持続的に成長する企業グループ」の実現に向けた方向性を示しています。

第1次中期経営計画（2024～2027年度）では持続的成長実現のための経営基盤を整備し、第2次中期経営計画（2028～2030年度）では長期ビジョン実現に向けた新たな事業領域の拡大に挑戦します。

当社グループのDNAである「日本の社会インフラを支える」ことで社会に貢献するためには、「人」が最も重要な要素であると捉えております。その中で、挑戦を続ける人材が活躍できる企業へ変革することが、長期ビジョンの実現に繋がると考えています。

2. 基本方針

インフラ整備を通じた社会貢献
永続的で挑戦的な企業体質の構築
サステナビリティ経営の推進

3. 定量目標

	2027 年度目標	2030 年度目標
売上高	500 億円	600 億円
営業利益	30 億円	40 億円
ROE	10%以上	
DOE	4%以上	
連結配当性向	40%以上	

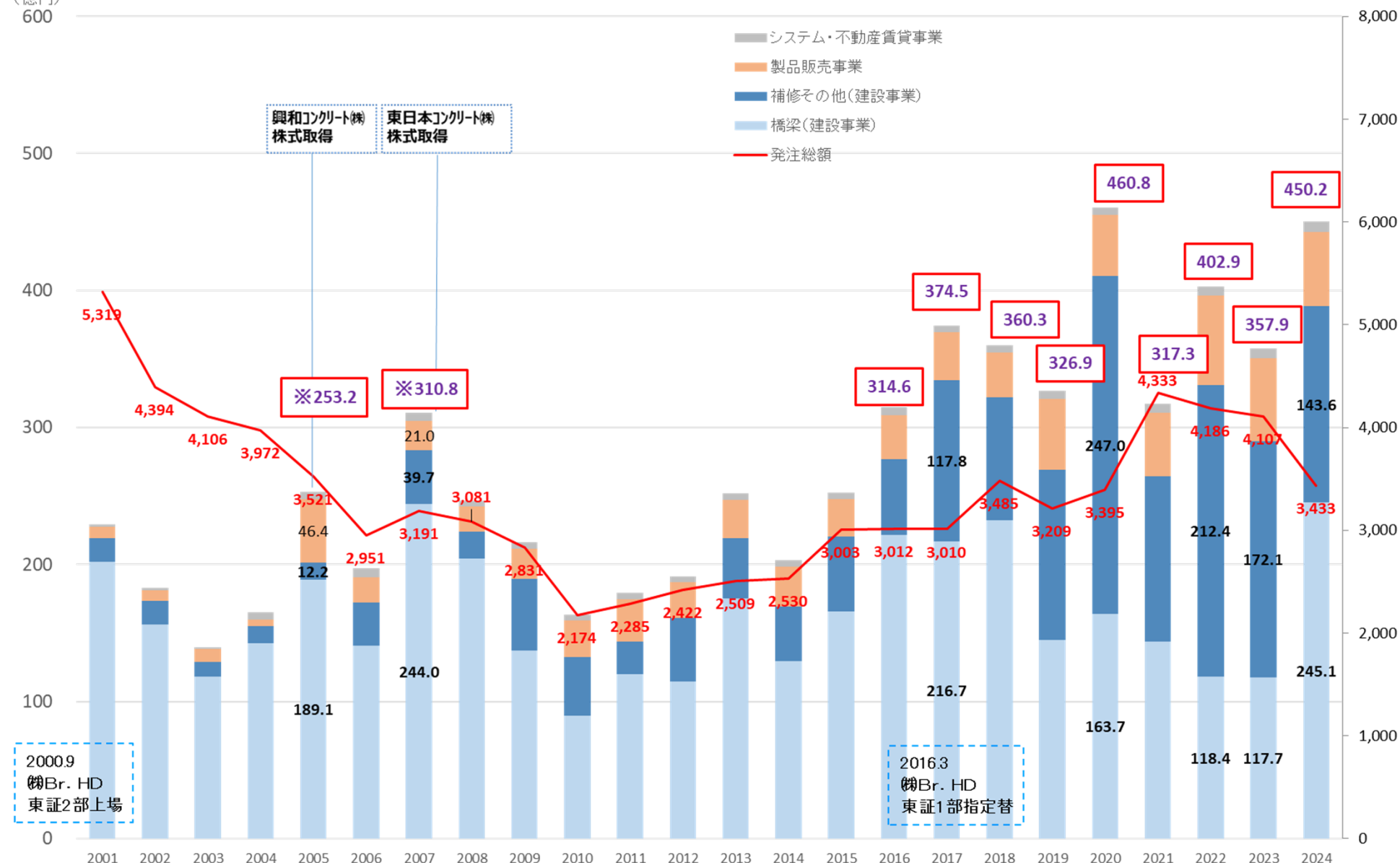
4. 詳細URL

https://www.brhd.co.jp/ja/news/irnews/auto_20241205534858/pdfFile.pdf

年度別セグメント別受注実績・年度別発注額推移比較

受注高
(億円)
600

※年度別発注総額
(億円)



※年度別発注総額は、一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会の調べによる統計値です
 ※H17年度の受注高には興和コンクリート㈱の全株式を取得したことに伴い、興和コンクリート㈱の繰越高56億円が含まれております。
 ※H19年度の受注高には東日本コンクリート㈱の全株式を取得したことに伴い、東日本コンクリート㈱の繰越高54億円が含まれております。

発注先別受注高、売上高、手持高（建設事業）

百万円

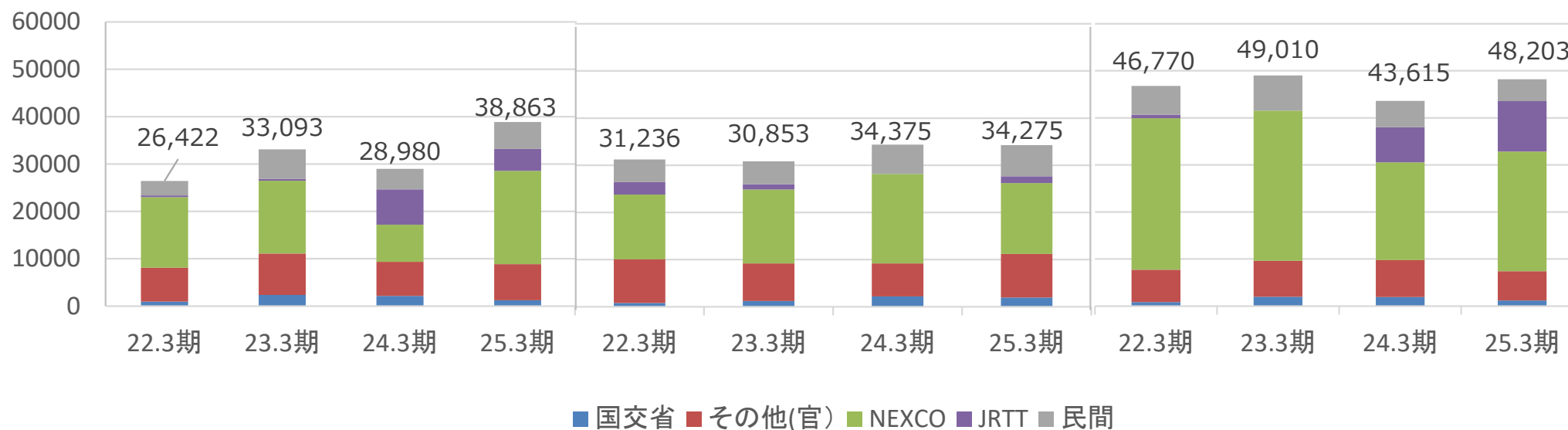
	2025.3期	期首手持高	当期受注高	当期売上高	期末手持高
官公庁	国交省	1,933	1,247	1,975	1,205
	その他	7,835	7,613	9,243	6,205
民間	NEXCO	20,782	19,687	15,022	25,447
	JRTT	7,468	4,661	1,432	10,697
	民間	5,597	5,655	6,603	4,649
計		43,615	38,863	34,275	48,203

百万円

受注高

売上高

期末手持高

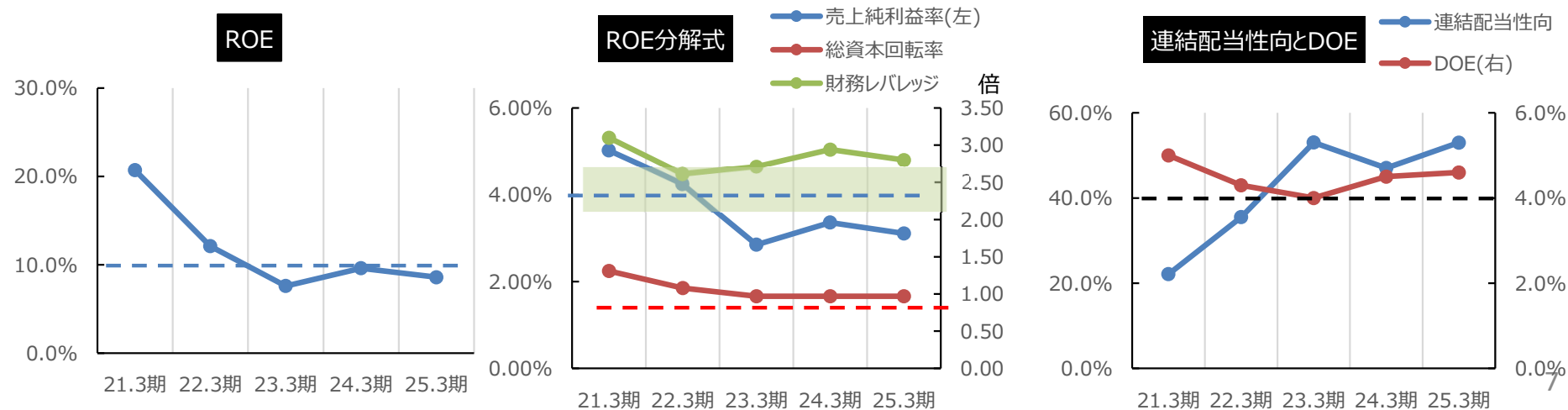


資本収益性と株主還元

・ ROE = 8.6% > 株主資本コスト6~7% (自社想定)

・ PBR = 1.0倍

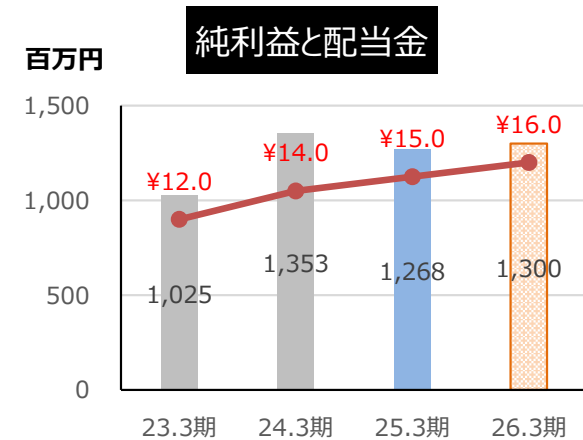
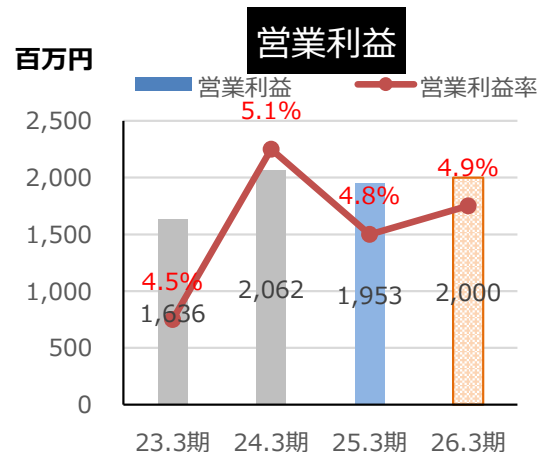
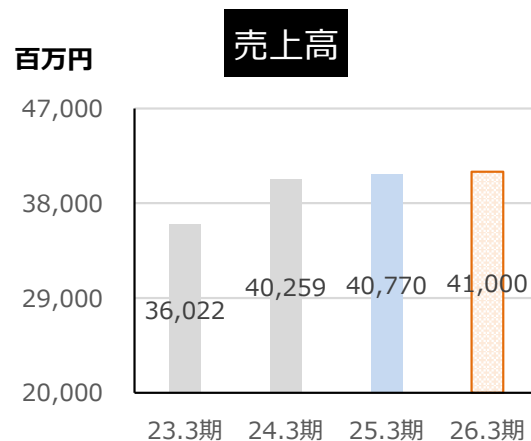
財務KPI	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期	25.3期	26.3期目標
ROE	20.7%	12.1%	7.6%	9.6%	8.6%	10%以上
売上高純利益率	5.02%	4.25%	2.85%	3.36%	3.11%	4%以上
総資本回転率	1.31倍	1.08倍	0.97倍	0.97倍	0.97倍	1倍以上
財務レバレッジ	3.10倍	2.61倍	2.73倍	2.94倍	2.80倍	2.5~3.0倍
連結配当性向	22.1%	35.5%	53.0%	47.0%	53.0%	40%以上
DOE	5.0%	4.3%	4.0%	4.5%	4.6%	4%以上



次期の業績予想及び配当

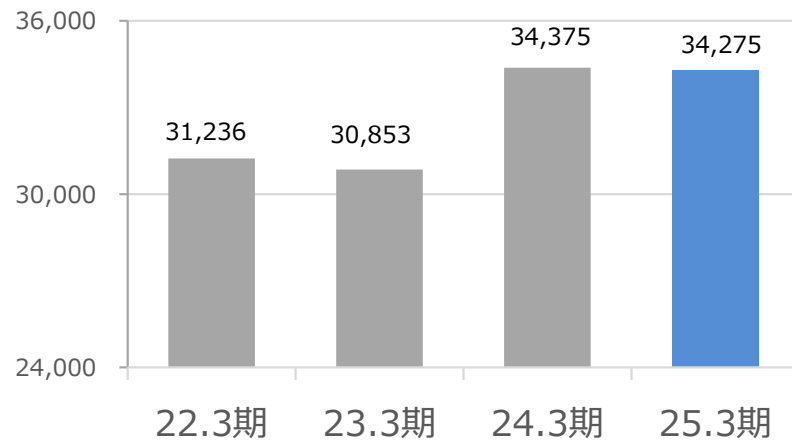
売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は当期実績より増収増益を見込み、配当は1円増配

単位：百万円	24.3期		25.3期		26.3期		
	実績	前年比 %	実績	前年比 %	予想	前年比 %	コメント
売上高	40,259	11.8	40,770	1.3	41,000	1.0	大型工事の進捗が順調に進むと見込まれ前期並み
営業利益	2,062	26.0	1,953	△5.3	2,000	2.4	大型工事の進捗に伴って、設計変更の増額が見込まれ前期比増益
経常利益	2,036	25.3	1,880	△7.6	1,900	1.0	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,353	31.9	1,268	△6.3	1,300	2.5	
1株当たりの配当金	14円（特配1円含む） （中間6円 期末7円 特配1円）		15円 （中間7.5円 期末7.5円）		16円 （中間8円 期末8円）		連結配当性向40%以上 DOE4%以上



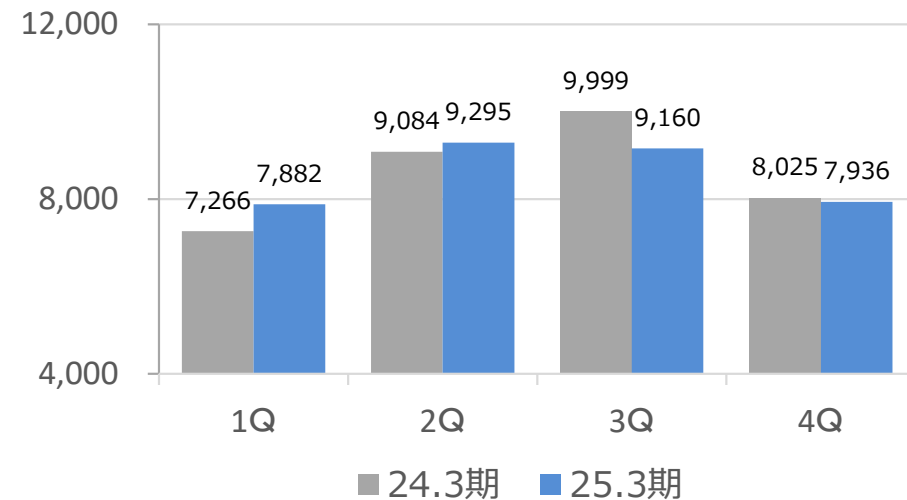
(単位：百万円)

売上高(累計)



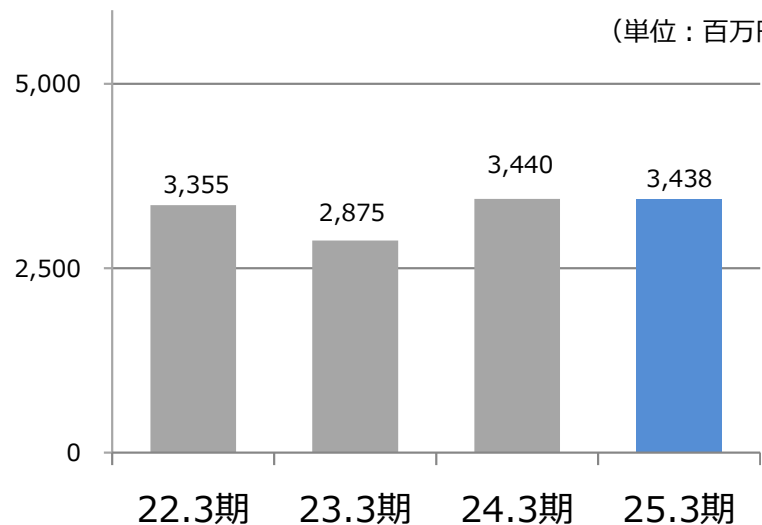
(単位：百万円)

売上高(四半期別)



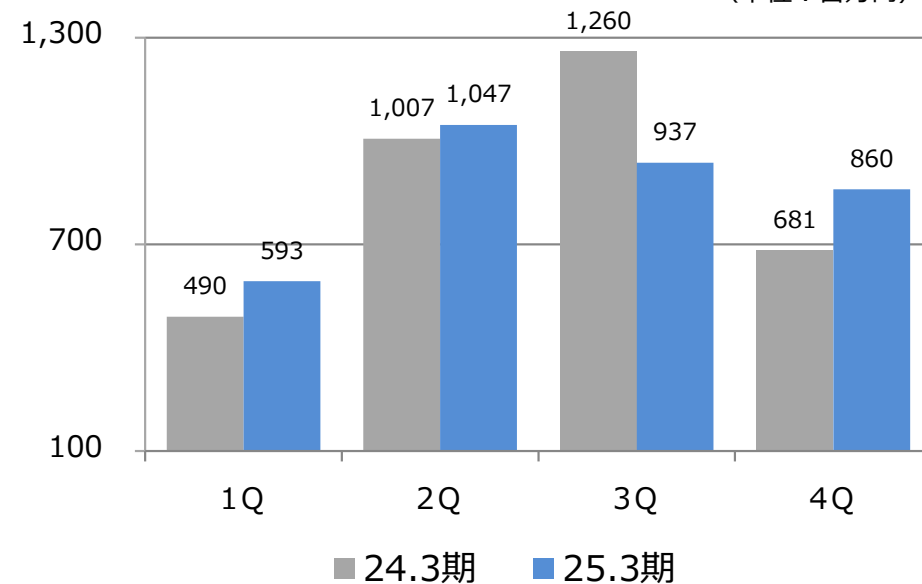
(単位：百万円)

セグメント利益(累計)



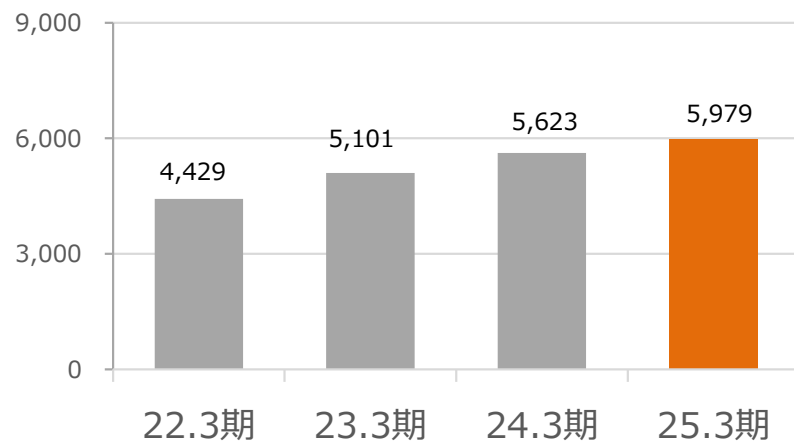
(単位：百万円)

セグメント利益(四半期別)



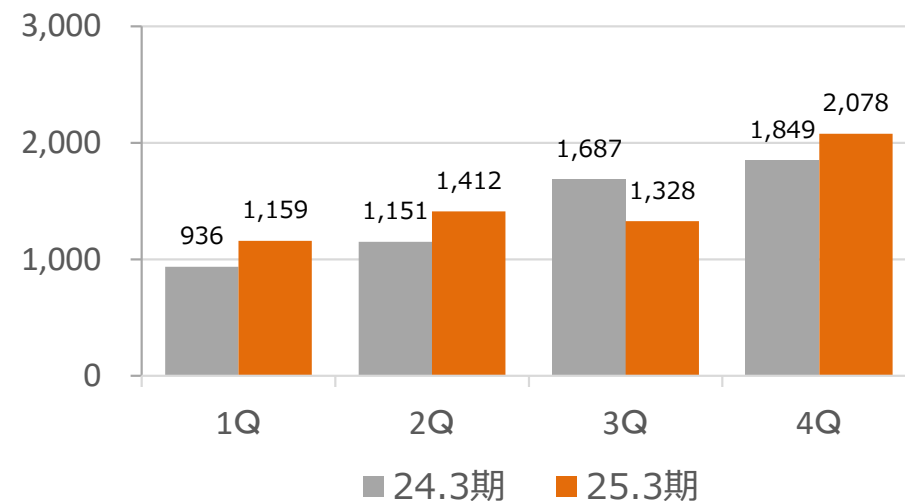
(単位：百万円)

売上高(累計)



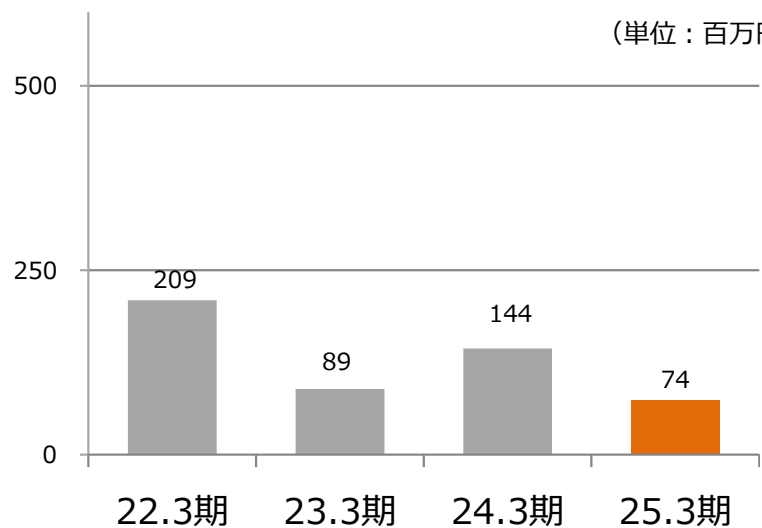
(単位：百万円)

売上高(四半期別)



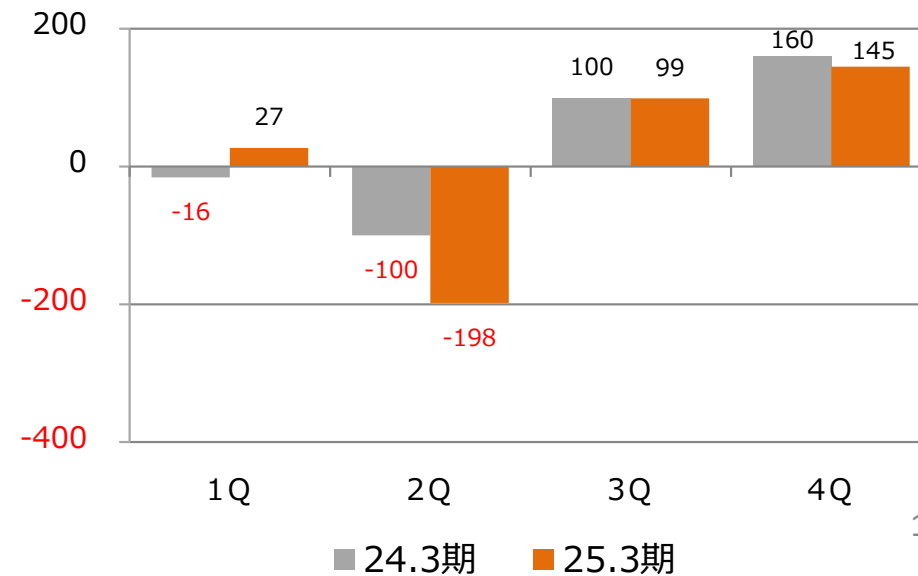
(単位：百万円)

セグメント利益(累計)



(単位：百万円)

セグメント利益(四半期別)

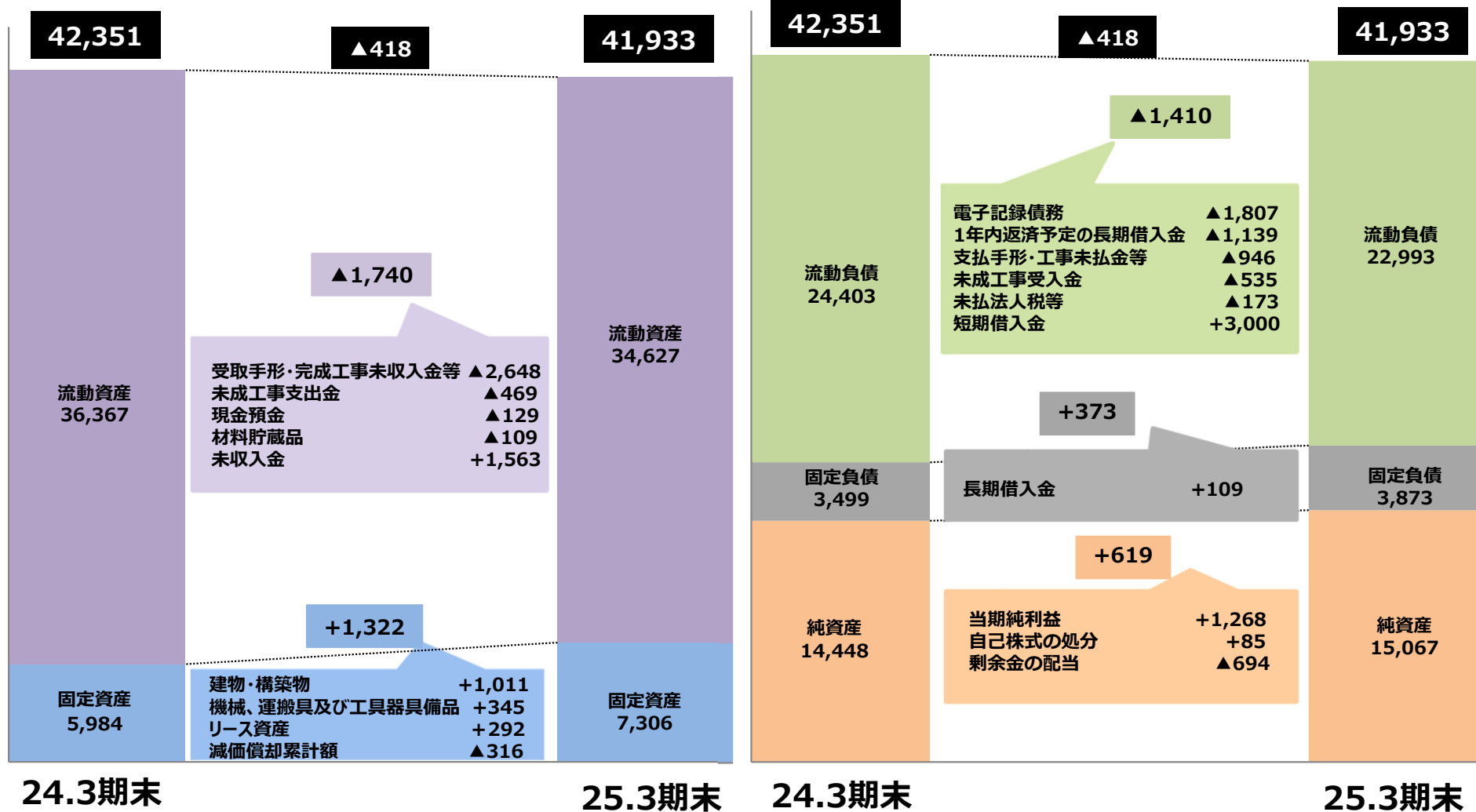


連結貸借対照表

資産の部

負債・純資産の部

百万円

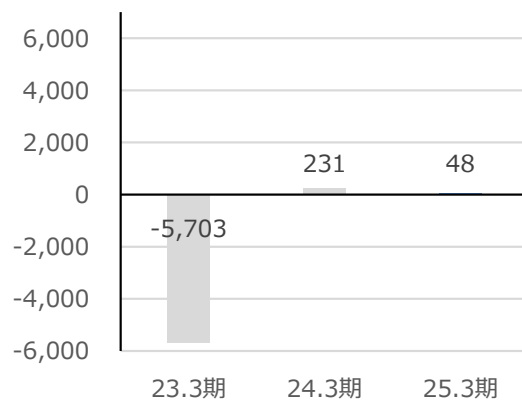


連結キャッシュ・フロー

単位：百万円	23.3期	24.3期	25.3期	
営業キャッシュ・フロー	△5,703	231	48	売上債権の減少額 +2,648 税金等調整前当期純利益 +1,895 仕入債務の減少 ▲2,753 未収入金の増加 ▲1,460
投資キャッシュ・フロー	△75	△443	△1,448	有形固定資産の取得による支出 ▲1,416
財務キャッシュ・フロー	6,173	208	1,264	短期借入金純増加額 +3,000 長期借入金による収入 +1,300 長期借入金の返済による支出 ▲2,330 配当金の支払額 ▲694
現金・現金同等物期末残高	1,820	1,816	1,680	

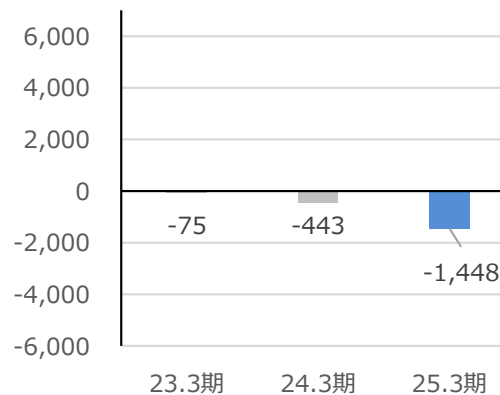
百万円

営業CF



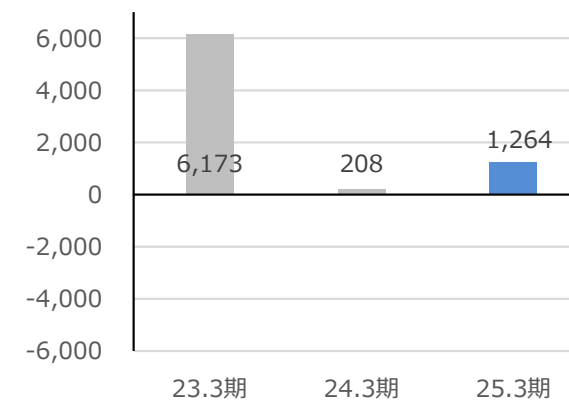
百万円

投資CF



百万円

財務CF



【その他トピックス】北海道新幹線事業への取り組み



北海道新幹線、倶知安軌道スラブ製作運搬 スラブ製作工場（2025年3月稼働）



北海道新幹線、遊楽部高架橋
工期（2023年4月～2026年7月）



北海道新幹線、ルベシベ川橋りょう
工期（2024年12月～2027年1月）



北海道新幹線、岩尾別橋りょう
工期（2024年12月～2026年8月）